白縫譚

父の恩

四拾一編上

へ13
1178
81

廣幸梓

種彦作
芳幾画

四拾一編下

へ13
1178
82

へ 13
1178
81

へ13
1178
81

柳亭傳來 白縫譚

一帙四卷 四十壹編

草冊子を賣藥の比まゝ袋外題ハ看板包紙の如く序文ハ能書ゝ
但ゝ有うなれど賣藥ハ空く虛語ゝそも其功まことに神の如しと
自負せゝば不售ど序文ハ此本面白く感ハ堪ゝ給ふべくと書
戲作者ハ古來ゝく心裡ハ隨分と天狗ハ化て居ても拙著愚
作と卑下の間ハ述懷を加ゝれ過ぎさりとて序文を勿華く
ゝけど本文ハ粗惡ゝらんと黑人の穿鑿家ハ序だゝり讀て掘たまゝゞ
多きと聞けど又小姐や童癡ハ序の半張ハ目も觸ゝるゝハぞ宜し劇場
ふても物任言序幕かゝゝる見物ハ稀ゝり師も正月の節ゝ看ハ比し
座禪豆のかゝゝびる魅魅の生清ゝる誰人ゝそれを喰者あらん繪本の叙
文も其如し讀者ハゝるけまゝども塞いでゝくゝ吉例ゝりと俳優三十六花撰乃
緒詞ハゝ紀なひき然有とて能書の鹿摺ハ其藥品の賤くゝもれバ喻譬
序の文拙くとも世ゝてハ拵套の華飾ゝふ是貨物ハ花をかざる丹誠ゝるべし
壯麗ハせむと販主の勞神も

戲作家 東都浅草堀田原 柳亭種彦

本賣弘所 深川佐賀町 廣岡屋幸助
浅草ゝ一恵齋芳幾 同横ゝ梅素玄魚根岸 武田交未

春之助
英浦

柔揄軒

春

夏

▲女も一夜人とへんけーくらぶ

上京

せーぶんびーこ

▲さんぬるところ

上京

土蜘蛛
六十編
一惠齋芳幾画

兩面織花田物語
初編
五編
二十編

假名讀八犬傳
二十五編
朝霞樓芳景画

古今俳優似顔大全
故豐國公羽蓋
尾錦・白三番

太平記英勇傳
中綿山々亭有人記
百番續 惠齋芳幾画

へ13
1178
82

特
へ13
1178
82

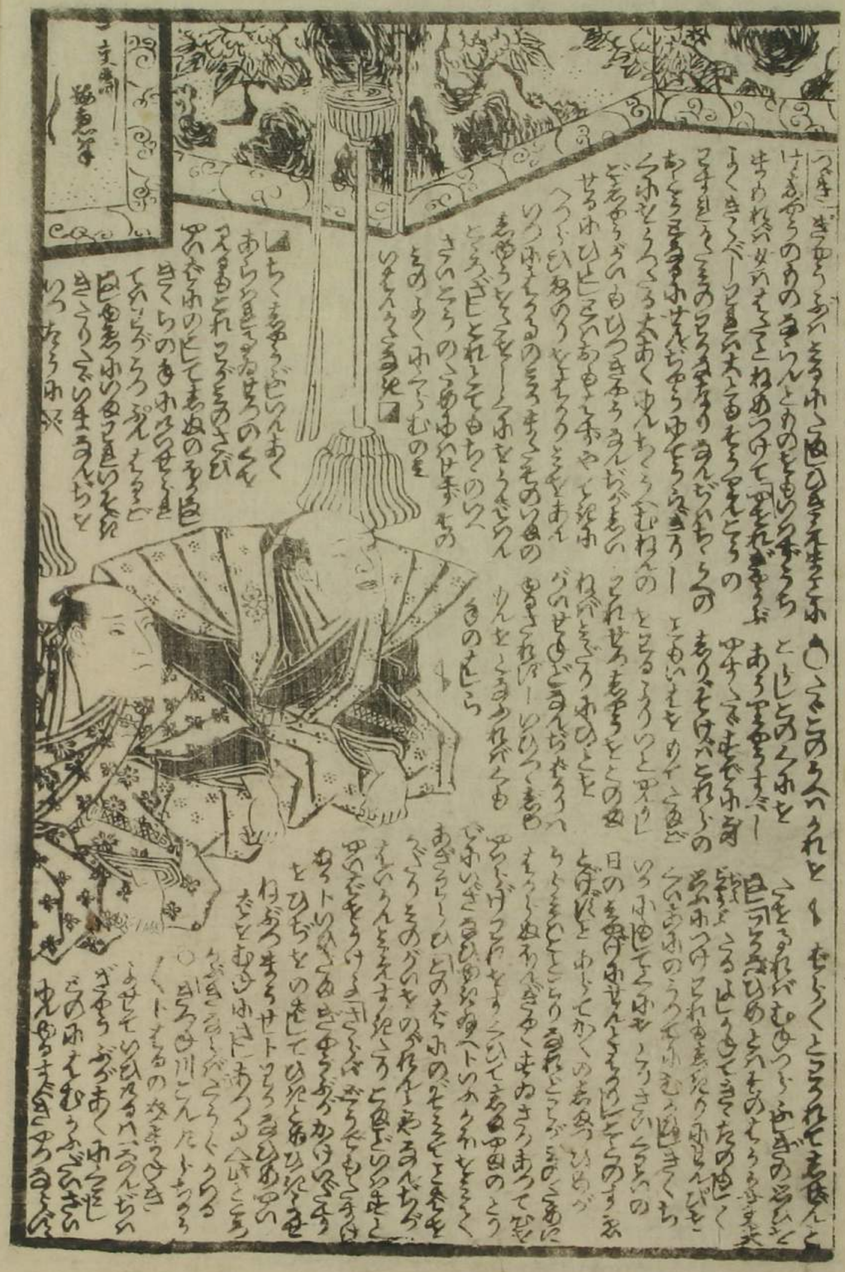
種彦作よ

白縫譚

一九画

四十一編下

廣岡製本



種彦作 芳幾画

浪花草紙四編

江戸深川佐賀町
廣圖彫幸助梓

浪華金鶴

三編讀切

戯名堂 鶴亭主人 著
松柏園 春文 交來作
竹林 其水 画